

いつといつ時に備えませんか

令和4年度北上市総合防災訓練

9月4日に北上市総合防災訓練を行います。市内全域で緊急速報メール配信やラジオでの緊急情報放送をするほか、黒岩地区では避難訓練や参加体験型訓練も実施します。訓練への協力、参加を通して災害に備えませんか。

緊急速報メール配信訓練

緊急速報メールを市内全域に配信します。ご確認ください。緊急速報メールとは、市内にある携帯電話・スマートフォンに、避難情報など緊急性の高い情報を配信するものです。

■配信時間：9月4日(日)7時ごろ

緊急情報伝達訓練

きたかみE&Be工フームを活用した情報伝達訓練を行います。訓練時間には、通常放送を緊急情報に切り替えて放送します。

より良い案内サインを一緒に創りましょう

まちなか案内サイン創造ワークショップ



案内誘導板などの設置基準となるガイドライン策定のため、まちなかを歩いて案内サインの設置状況を確認するとともに、今後の案内サイン設置を検討するワークショップを行います。

■とき：9月3日(土)10時～13時

■とき：9月4日(日)7時40分ごろ

避難訓練

黒岩地区内で大地震(震度6弱)を想定した避難訓練を行います。

■とき：9月4日(日)7時～8時30分

■ところ：黒岩地区交流センター

参加体験型訓練

特殊車両の乗車体験や防災関連パネル展示など、見る・知る・体験する参加体験型の訓練を行います。

■とき：9月4日(日)9時～12時

■ところ：黒岩小学校、黒岩まちなか広場(駐車場あり)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内の感染状況により訓練内容を変更する場合があります。

06

■問い合わせ：危機管理課 ☎72-8306

06

より良い案内サインを一緒に創りましょう

まちなか案内サイン創造ワークショップ



案内誘導板などの設置基準となるガイドライン策定のため、まちなかを歩いて案内サインの設置状況を確認するとともに、今後の案内サイン設置を検討するワークショップを行います。

76

■問い合わせ：都市計画課 ☎72-8206

宅地造成や土地売買などの前に確認を

土地開発前の事前届け出

宅地造成やアパート建設など行う場合

将来のまちの姿を示す「北上市立地適正化計画」は、生活サービスやコミュニティを持続的に確保する区域(都市居住区域)と、日常生活に必要な各種サービスの集約・立地を行う区域(都市機能誘導区域)を設定しています。この区域以外で宅地造成やアパートの建設などの特定の行為を行う場合には、都市再生特別措置法に基づき届け出をしなければなりません。

届け出方法や区域の詳細は、市のホームページをご確認ください。



76

■問い合わせ：都市計画課 ☎72-8206

詳細は、市のホームページをご確認ください。



医療費の窓口負担割合が変わります

後期高齢者医療費の窓口負担割合変更

令和4年10月1日から後期高齢者医療制度が変わり、一定以上の所得のある人は医療費の窓口負担割合が1割から2割に変わります。また、10月以降の負担割合は、8月中に判定し、9月下旬に被保険者全員に保険者証(水色)を送付します。

令和4年10月1日から後期高齢者医療制度が変わり、一定以上の所得のある人は医療費の窓口負担割合が1割から2割に変わります。また、10月以降の負担割合は、8月中に判定し、9月下旬に被保険者全員に保険者証(水色)を送付します。

なお、現在の保険者証(桃色)の有効期限は9月30日までです。

■問い合わせ：国保年金課 ☎72-8205

ワクチン接種を受け付けています

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ



4回目接種券発行申請を受付中

18歳～60歳未満で基礎疾患を有する人と、医療従事者や高齢者施設従事者の接種券発行申請を受け付けています。
■申請方法：左記QRコード（申請フォーム）またはコールセンター（☎0120-1107-935）へ



基礎疾患を有する人



医療従事者・高齢者施設従事者

3回目接種の検討を

3回目接種によりオミクロン株感染に対する感染予防効果や発症予防効果、入院予防効果が回復することが報告されています。自身と大切な人の健康を守るため、ワクチン接種をご検討ください。


■問い合わせ：健康づくり課新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム ☎72-8340

令和5年度開校に向けて

市立東桜小学校の校章決定



立花、黒石、口内、照岡小学校の東部地区4校が統合して市立東桜小学校が開校します。4月4日から5月27日まで校章案を募集したところ、全国から177点応募があり、北上市東部地区小学校統合推進委員会の協議を経て、市教育委員会が決定しました。

ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。 

■制作者：居関 孝男さん（京都府京都市在住のグラフィックデザイナー）

■制作者より：「東桜小学校」の校名・市の木である桜の花びらを用いて、児童が両手を広げ大地に踏ん張る姿をほうふつさせました。小さな4枚の花びらで統合する4校、大きな花びらで未来への成長と躍進、そして新しい学び舎を表してあります。

■問い合わせ：学校教育課 ☎72-8258

珈琲 ブレイク

No.125

北上市長

高橋敏孝



メディア・リテラシー

ロシアのウクライナ侵略が始まって半年が経つ。当初、どのメディアもこぞってこの事を取り上げ、ロシアへの批判を報じていたが、今では関連報道を目にする機会は数える程になってしまっている。また、その内容も立場によって大きく違いを見せるようになってきたのではないだろうか。中には、ロシアサイドから見たウクライナ占領地域の情報を伝えるメディアも見受けられる。私たちはこうした記事をそのままのみにしていいのだろうか。

ジャーナリストの池上彰さんは著書「メディア・リテラシー入門」の中で、「メディア・リテラシー」とは、メディアを見たり聞いたり読んだりする能力のことです。…「新聞なんか、どれも同じ」と思っているようですが、どうして、どうして、新聞はずいぶん内容が違うのです。ひとつの新聞だけを読んでいたのでは、違う認識を持ってしまうことがあるのです。』と述べている。

さて、お隣、韓国との関係が、あるメディアの一方的な取材を基にした「慰安婦問題」報道などによっていまだにギクシャクしている。だからこそ、メディアにはしっかりした倫理感に基づいた報道姿勢が求められているのだ。しかし記者も人である。とくダネ欲しさに一方的な取材で勇み足をするのもあれば、主観によって偏った記事を書くことも無いとは言えない。

しからば私たちはそれをどう見抜けばいいのだろうか。テレビでも新聞でも右寄りから左寄りまで、立ち位置の偏りが見えるし、一方的な取材がいまだに常態化しているメディアも見受けられる。大切なのは、各メディアの特徴を踏まえながら、新聞であれば複数紙を読み比べて判断する、一紙しか取り上げていない記事については、意見が対立する両者の取材がしっかりなされているか、などによって判断することだ。メディアは知らず知らずのうちに人の思考を支配していくように見える。この際、ご自身のメディアとの接し方を改めて振り返ってみてはいかがだろうか。